



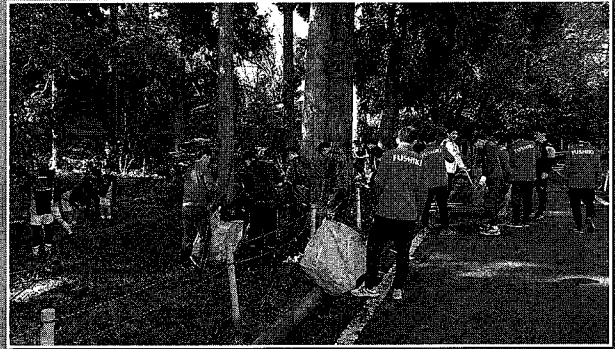
如意ヶ丘

第25号

《発行》令和2年1月31日



中国六市語学研修 (R1.12)



気多神社清掃ボランティア (H31.4)

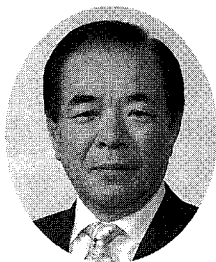


伏木若まつり帆柱起し祝い明踊り町流し (R1.7)



同窓会定期総会吹奏楽部演奏 (R1.7)

ごあいさつ



会長

山崎 泰邦

厳冬の候、会員の皆様にはご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より、如意ヶ丘同窓会に多大なるご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年5月に年号が「平成」から「令和」となりました。これまでの元号は中国の古典から引用されていましたが、新元号は我が国最古の歌集「万葉集」の梅花の宴の序文からの引用ということで、万葉集に注目が集まりました。今から30年前に歴史文化都市高岡を標榜して建設された、「高岡市立万葉歴史館」に脚光が集まり、今も多くの来館者が訪れ賑わっています。また、勝興寺の大改修工事もいよいよ令和2年度末で完成する運びとなりました。完成後は国宝の指定を目指して新たな活動が始まります。国宝に指定されると、一つの市に二つ以上の国宝があるのは奈良、京都を除くと全国で初となるため、県、市はもとより地元でも熱い要望活動が行われます。このように母校の地元

では久々に各方面から注目される出来事が続いています。

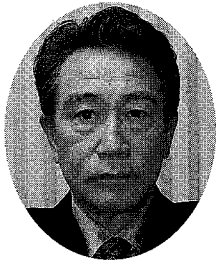
一方、如意ヶ丘同窓会の昨年のトピックスとしては、伏木高校サッカー部創部60周年記念式典に参加したことです。記念事業に賛助金を送り、ユニフォーム15人分を新調しました。これを機に再び全国大会に出場することを目的に新たなプログラムを始動するというので、大いに注目し応援していきたいと思っております。

片や、高校再編の嵐は第一波が通り過ぎたとはいえ、少子化に歯止めがかからず若年人口が減少する中、予断を許さない状況が続いています。如意ヶ丘同窓会としては、伏木高校支援推進委員会と相まって母校の存続に最大の努力を傾注しその任に当たる所存です。

同窓生17,000名を超える会員がいる、伝統と歴史のある如意ヶ丘同窓会の更なる発展と母校の繁栄、そして如意ヶ丘同窓会100周年事業に向け、微力ではありますが引き続き努力してゆく所存であります。何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

向春の候、会員の皆様には御身ご自愛のほどご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

県民ふるさと大賞を受賞



校長
南 修朗

如意ヶ丘同窓会会報の第25号の発刊、誠にありがとうございます。如意ヶ丘同窓会の皆様には日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力、多大なご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

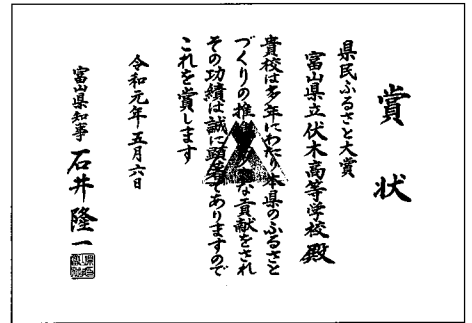
富山県では、置県130年を記念して、平成25年3月に置県の日である5月9日を「県民ふるさとの日」と条例で定め、県民や県出身者の皆さんが、ふるさとに思いを寄せると共に、希望と誇りを持つ「ふるさと富山県」を築き上げることを期待する日としています。この「県民ふるさとの日」の設置を契機として、平成26年度から「県民ふるさと大賞」を設け、ふるさと教育の振興に関する取り組みはもとより、県民がふるさとへの誇りと愛着を育むことのできる取組みを幅広く顕彰しています。

そして今年度は、令和元年5月6日（月・振休）に開催された、改元記念「県民ふるさとの日」記念式典において、本校が「県民ふるさと大賞」を石井知事よりいただきました。本校では例年、1年生全員が東亜合成、伏木海陸運送および速水発条など、伏木地区の企業を見学し、重要文化財の勝興寺や万葉集の研究施設である万葉歴史館などの文化施設で講話を受け、地域の文化・歴史に対する理解を深めています。さらに7月下旬の「伏木港祭り」では、1年生女子生徒が色鮮やかな浴衣を身にまとい、「帆柱起し祝い

唄」と「けんか山七福神音頭」の町流しに加わり、10月初旬、高岡古城公園でおこなわれる「万葉集全二十巻朗唱の会」に生徒会役員が万葉衣装に身を包み登場するなど、地域の行事にも積極的に参加しています。そして、授業においても「郷土文学」として、「越中万葉」の他、「義経記」「奥の細道」など、郷土にゆかりのある文学を学び、平成27年には補助教材「伏木の文学」を作成し、市内の中学校に配布しました。これらの長年にわたる本校の取組みが評価されたものです。

「ふるさと富山県」といえば、今年は朝乃山の活躍に尽きますが、本校の部活動においては、野球部が春・夏・秋の三大会において、すべてに3回戦へ進出いたしました。各試合のスタンドにおいては、同窓生の皆様の応援をたくさん戴きましてありがとうございました。サッカー部も秋には3回戦に進出し、今後の活躍が期待されます。さらに創部60周年記念事業には、多大なるご支援を戴いており感謝いたしております。

今後も本校の活動にご理解とご支援を戴きまますよう、よろしくお願い申し上げます。



県民ふるさと大賞の賞状

総会報告

伏木高校如意ヶ丘同窓会

令和最初の伏木高校如意ヶ丘同窓会定期総会が、令和元年7月14日(日)午後4時より「伏木コミュニティセンター」において、約60名の出席により開催されました。

総会では、戸澤副会長の司会進行により、最初に全員で同窓会物故者に対して黙祷を捧げたのち、山崎同窓会長、南校長の挨拶がありました。議事は議長に選出された山崎会長によって進められ、平成30年度事業報告、会計報告等が行われ、承認を受けました。

その後、同窓会役員の変更が諮られ、長らく顧問を務められてこられました吉原節夫氏の退任と、若手会員を役員に登用し、活気ある事業作りをめざすことが満場一致で承認されました。

続いて、令和元年度事業計画(案)、会計予算(案)等が審議され、全て承認され、全ての議事を終えたのち、在校生による海外語学研修報告のプレゼンテーション、そしてアトラクションとして本校の吹奏楽部による演奏を披露していただき、総会は終了しました。

総会後には懇親会へと移り、本校サッカー部創部60周年開催予告や、出席者同士の近況を報告し合うなど大いに盛り上がり、最後に出席者全員で声高らかに校歌を斉唱し、母校と同窓会の益々の発展及びお互いの健康と再開を期して、懇親会は盛会のうちに閉会しました。

結びになりますが、今後も同窓会の発展と魅力ある活動を努めてまいりますので、同窓会員の皆様には、ご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 杉本 和文(伏高44回)



令和元年度 如意ヶ丘同窓会顧問・役員

役職	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数
顧問	山崎 孝之	商業 14回	山崎 泰邦	伏高 23回
〃	大黒 幸雄	商業 16回	増井 修	伏高 22回
〃	山下 和夫	北高 3回	小泉 哲二	伏高 26回
〃	牧 亨	伏高 16回	上田 耕一	伏高 28回
〃	山口 正志	伏高 18回	谷内 浩仁	伏高 28回
〃	石須 大雄	伏高 38回	炭谷 強	伏高 30回
〃	酒井 敬司	伏高 38回	松嶋 浩二	伏高 31回
〃 (関東如意ヶ丘)	杉林 清	北高 6回	条谷 正利	伏高 37回
〃 (関西支部長)	南 修朗	伏高 12回	戸澤 秀行	伏高 39回
〃 (学校長)	南 修朗	伏高 12回	金田 健一	伏高 39回
会長	山崎 泰邦	伏高 23回	宮越 一郎	伏高 40回
副会長	増井 修	伏高 22回	山本 政則	伏高 40回
〃	小泉 哲二	伏高 26回	山 鉄也	伏高 42回
〃	上田 耕一	伏高 28回	山本 健一	伏高 43回
〃	谷内 浩仁	伏高 28回	城光 茂	伏高 43回
〃	炭谷 強	伏高 30回	杉本 和文	伏高 44回
〃	松嶋 浩二	伏高 31回	増岡 寛之	伏高 44回
〃	条谷 正利	伏高 37回	山岡 弘之	伏高 44回
〃	戸澤 秀行	伏高 39回	加治 幸大	伏高 50回
〃	金田 健一	伏高 39回	川端 秀和	伏高 50回
〃	宮越 一郎	伏高 40回	奥原 理	伏高 51回
〃	山本 政則	伏高 40回	向井 辰郎	伏高 22回
〃	山 鉄也	伏高 42回	澤武 博	伏高 26回
〃	山本 健一	伏高 43回		
〃	城光 茂	伏高 43回		
〃	杉本 和文	伏高 44回		
〃	増岡 寛之	伏高 44回		
〃	山岡 弘之	伏高 44回		
〃	加治 幸大	伏高 50回		
〃	川端 秀和	伏高 50回		
〃	奥原 理	伏高 51回		
監査	向井 辰郎	伏高 22回		
〃	澤武 博	伏高 26回		

第23回如意ヶ丘同窓会関西支部 総会・懇親会

令和元年「道頓堀ホテル」にて、同窓会本部より山崎泰邦会長・条谷正利副会長・戸澤秀行副会長を来賓としてお迎えし、総勢29名出席のもと、「第23回如意ヶ丘同窓会関西支部」同窓会・懇親会が開催されました。

ダブル司会(川田副支部長・田島優氏)で、冒頭、校友物故者への黙祷を捧げ、杉林支部長が「本日のご出席のお礼を申し上げ、友達と話す機会があれば関西支部のことを勧めていただきたい」と開会挨拶がありました。

続いて、山崎会長からは「3年後、創立95周年であります。」とおっしゃった上、新元号で伏木の万葉歴史館が毎日満員であり、勝興寺はあと1年余りで大修理が終わる。本校ではサッカー部が創部60周年で約200人集め、野球部も頑張っております。楽しくなる話が他にもたくさんありました。

続いて議事に入り、平成30年度事業・収支報告(奥会計)監査報告(山本監事)があり、拍手で承認されました。次期総会は令和2年9月27日に決定されました。皆さん誘いあってご出席願います。

活動助成金が山崎会長より杉林支部長に授与され、全員拍手で謝意を表しました。総会は記念撮影の後、終了しました。

懇親会は条谷副会長の乾杯のご発声で歓談に入りました。久しぶりに出席された29回卒、市山肇代。27回卒、前田喜幸代。及び19回卒、池淵光代の若手会員にスピーチを頂き、「参加者が減っていくのが淋しいですね!」と



貴重なご意見を、頂きました。

余興では、お待ちかね「とやま名産品争奪ジャンケン大会」(西川幹事)の采配で、段取りもよく進めていき、皆さん目星をつけた品を勝ち取った様でした。残りは来賓より頂いた品のジャンケン。その前に賞味しながらの参加となり完売でした。

その中「カラオケ」もすすみ(西井幹事)楽しく!楽しく!!

めめは、校歌斉唱後、戸澤秀行副会長による「バンザイ三唱」川田副支部長の閉会挨拶、麦谷一男氏の一本締めで閉会となりました。母校の発展と同窓会全員の健康を願って、令和2年9月27日「道頓堀ホテル」で、また会いましょう。

다시 만나요

第23回関東如意ヶ丘同窓会総会

令和元年11月21日秋晴れに恵まれたこの日「第23回/関東如意ヶ丘同窓会総会」を酒井会長ほか23名の出席のもと開催。

母校より南校長・本部同窓会から山崎会長に上京戴き、今回は趣向を変え都内散策ツアーを実施。

迎賓館赤坂離宮参観：明治の西洋宮殿様式の豪華絢爛な内装の数々に感嘆、また入念に手入れされた大庭園の庭木、見事な噴水を観て約一時間半の滞在で国宝赤坂離宮をバックに記念写真撮影を済ませ、築地場外市場へ移動「すしざんまい」で旨い寿司の昼食後市場散策、日頃体験しない食べ歩きを楽しんだり広大な築地市場跡地のオリンピック対策工事を臨み大会の成功を論じた。

次に築地本願寺へ徒歩移動し参拝、30分の法話では築地の地名由来から昭和9年完成した現本堂の外観「古代インド仏教様式」になった経緯また本堂内彫刻は井波職人謹製と聴き同県人としての誇りを感じた。最後は他の類を見ないお寺本堂内設置のパイプオルガン(大小2000本のパイプ有)演奏を拝聴。



日本橋とやま館：総会は林副会長の司会で始まり、酒井会長挨拶のあと活動報告/会計報告を所定形式で承認した後、本部山崎会長・南校長と来賓富山県首都圏本部利川本部長、連合会東常務理事の皆様から挨拶を頂き石岡婦人会長の音頭で乾杯を行って懇親食事会の開始、北日本新聞・富山新聞両社から取材参加頂いた。

とやま館：はま作の美味セット富山湾の新鮮魚中心「あいの風」を美味しく食し、アルコールが進むにつれふろさと談義に花が咲き、大声が飛交って高校時代を思い起して懐かしんだ。榎副会長の終了挨拶で散会。

サッカー部創立 60 周年記念式典報告

伏木高等学校サッカー部 OB 会長 下 幸一 (伏高 27 回)

昨年 8 月 14 日、伏木高等学校サッカー部創部 60 周年式典、祝賀会を多数の御来賓（高岡市サッカー協会、如意ヶ丘同窓会、サッカー部後援会、サッカー部育成会、学校関係者、元サッカー部顧問）OB、総勢約 120 名の方々の御出席を賜り開催いたしました。

式典では私の挨拶の後、示森高岡市サッカー協会会長、山崎如意ヶ丘同窓会会長、宮越サッカー部後援会会長、米谷高岡市教育長（元顧問）より御祝辞を賜りました。そして如意ヶ丘同窓会より現役選手へユニホーム、OB 会より「やさしくれはっさくれ」という文字が書かれた横断幕が贈呈されました。今後の大会において選手への大きな力添えになるものと思っています。

伏木高等学校サッカー部は昭和 33 年（1958 年）富山県国体が行われた時に、本校がサッカー競技会場となった事をきっかけとして同年同好会として発足し、昭和 35 年に部として認められ誕生しました。発足当時は部員が 10 名あまりでありましたが、昭和 34 年の秋には、現在の全国高校サッカー選手権富山県大会で準優勝の栄誉にも輝きました。その後部員の減少、他校の健闘などから成績の低迷が続きましたが、平成 6 年、9 年には全国高校総合体育大会、平成 9 年には全国高校サッカー選手権に県代表として出場し、1 勝を挙げました。その大会で選手宣誓の栄も賜り「すべての力をチームのために結集する」と言う力強い宣誓がされ、OB として感動した事を思い出します。その後全国大会に出場する機会はありませんでしたが、いつかまたその日が来る事を願っています。

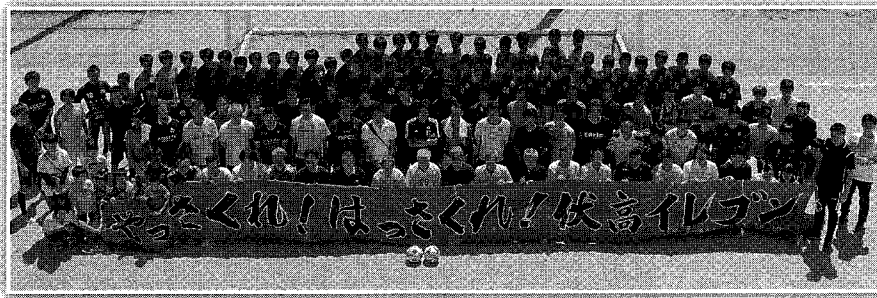
祝賀会は、先輩、後輩間でのサッカー談議、また年代別テ-



ブルでは現役当時の大会での勝敗、部活動で楽しかった事辛かった事などの思い出話で盛り上がっていました。途中私もサッカー部の部歌「色は黒いが心は優しボール 1 つに男を賭けて…」を先輩方と肩を組んで歌い、現役時代を思い出しました。若い世代からは「はじめて聞いた」と言う声も聞かれ、今後、部で歌い継がれていって欲しいと思いました。祝賀会の最後は伏木高等学校卒業生で、石須高岡市議会議員の御挨拶で終了となりました。

サッカー部は他校が頭角を現してきた事や高等学校再編等があり、最近良い成績を残しておりません。それでも部員は、ひたすらにボールを蹴り頑張っています。如意ヶ丘同窓会、サッカー部後援会、育成会の皆様には、御支援御協力を頂ければ幸いです。そして何よりも卒業生の皆様に、サッカー部の成績に関心を持って頂き叱咤激励を頂ければ、選手も期待に答えてくれるものと信じています。OB 会もしっかりとバックアップしていきます。

最後になりますが、伏木高等学校のさらなる発展と、同窓会会員の皆様の御健康、御多幸をお祈りいたします。



2. 歴史

【創設から黄金期へ】

本校サッカー部は、昭和 33 年の富山国体サッカー会場となったことが縁で同好会が結成され、昭和 35 年に部に昇格した。平成 6 年に行われた地元開催の総体で全国大会初出場を果たし、続く高校選手権でも初の全国大会出場を果たす。平成 9 年には総体県大会で二度目の優勝を飾り、続く北信越大会で準優勝、本大会では米子工業に逆転勝ちをおさめ、初の全国 1 勝を挙げる。平成 15 年には初の海外遠征となる韓国スポーツ交流を実施。平成 16 年には現在の高円宮杯 U-18 サッカーリーグプリンスリーグ北信越の前身である高円宮杯 JFA サッカープリンスリーグ北信越に参加し準優勝を飾った。翌 17 年、19 年と続けてリーグ 4 位となり北信越の強豪としての地位を確固たるものとした。

1. 概要

【監督】	山内 重孝	【歴代監督】	初代 山田 条雄
【顧問】	島田 康宏 伊東 佳剛	二代 佐藤 武雄	三代 大野 健心
【コーチ】	種部 翔太 高島 涼	四代 馳 悟 五代 浅田 茂	六代 橋本 芳夫
【主将】	加藤 大夢	七代 南 広志	八代 山崎 悟
【部員】		九代 米谷 和也	十代 谷内 浩仁
三年生	3 名	十一代 澁谷 龍宏	
二年生	19 名		
一年生	21 名		
マネージャー	2 名		

三北 回 卒 高 代 山 下 和 夫	三北 回 卒 高 吉 原 節 夫	八北 回 卒 高 松 長 一 雄	九北 回 卒 高 布 野 彰 一	十二 回 卒 高 作 道 和 宏	十四 回 卒 高 上 野 宏 芳	十五 回 卒 高 中 山 勝 儀	十六 回 卒 高 牧 亨	十八 回 卒 高 山 口 正 志	二十 回 卒 高 増 井 修	二十 回 卒 高 山 崎 泰 邦	二十 回 卒 高 阿 尾 隆 司	二十 回 卒 高 柳 沢 昌 文	二十 回 卒 高 小 泉 哲 二	二十 回 卒 高 澤 武 博	二十 回 卒 高 氷 見 伏 木 信 用 金 庫 常 勤 理 事
--------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	--------------------	------------------------	----------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	----------------------	-------------------------------------------

【近年の状況】

平成 17 年に普通科単独校から国際交流科単独校となったことで、本校の生徒数は大幅に減少。近隣の私立高校が台頭してきたこともあり、部員数が減少、成績も下降の一途をたどった。近年は県のトップレベルから大きく水をあけられている。そのような中、平成 29 年の高校選手権県予選において数年ぶりに県ベスト 8 進出を果たす。これを契機に部員数が増加し、再興の兆しを見せている。

【創部 60 周年を迎え】

令和元年には創部 60 周年を迎え、OB 会や同窓会の多大な支援を受けながら、メンタルトレーニングやデータ分析など科学的トレーニングを導入。審判の育成にも力を入れ、選手がサッカーに打ち込み楽しむ環境ができてきた。部のスローガンである、力の限り戦い抜く「やっさくれ!はっさくれ!」の精神で、もう一度全国の舞台で活躍するため、日々の活動に取り組んでいる。



【令和元年新ユニホーム】

如意ヶ丘同窓会より寄贈。有磯海をイメージし青色を使用した。

生徒感想

- ・これまでの伏木のイメージではなく、新しい印象です。
- ・伝統を受け継ぎながら、自分たちで新しい伏木のイメージを作っていきたいです。

3. 令和元年度公式戦結果

【県高校総体】

- 1 回戦 vs 雄山 ○ 4 - 1
- 2 回戦 vs 富山第一 ● 0 - 11

【全国高等学校サッカー選手権富山県大会】

- 1 回戦 vs 高岡南 ○ 2 - 1
- 2 回戦 vs 福岡 ○ 4 - 0
- 3 回戦 vs 龍谷富山 ● 1 - 5

【新人大会：D ブロック】

- 1 回戦 vs 入善・泊 ○ 6 - 2
- 2 回戦 vs 不二越工業 ● 2 - 2 (PK 5 - 6)

【高円宮 JFA U-18 サッカーリーグ 2019】

Top チーム：3 部 B 優勝 (9 勝 0 敗)

昇格プレーオフ

- 1 回戦 vs 富山南 ● 0 - 0 (PK 1 - 4)
- 2 回戦 vs 富山国際大付属 2nd ● 1 - 1 (PK 3 - 4)

B チーム：4 部 B 7 位 (3 勝 1 分 5 敗)

ゴルフ大会報告

第34回 如意ヶ丘グリーン会

開催日	優勝	井波	勝利 (伏高 12 回)
平成 31 年 4 月 13 日 (出)	次勝	田中	清 (北高 9 回)
開催場所	3 位	畑柳	齋嗣 (伏高 31 回)
氷見カントリークラブ	4 位	澤口	文 (伏高 25 回)
参加者	5 位	関武	宏 (伏高 25 回)
39 名	6 位	澤三	博 (伏高 26 回)
	7 位	廣野	勉 (伏高 26 回)
	8 位	細川	之 (伏高 23 回)
	9 位	岡中	辰雄 (伏高 15 回)
	10 位	富田	信治 (伏高 19 回)
	B G	田中	利清 (北高 9 回)

第31回 富山県高校OB対抗ゴルフ大会

期日	〈出場者〉	増井	修 (伏高 22 回)
令和元年 6 月 2 日 (日)	松嶋	浩二	浩二 (伏高 31 回)
場所	柳澤	昌文	文 (伏高 25 回)
高岡カントリー倶楽部	桶谷	美行	行 (伏高 20 回)
母校の名誉をかけ、熱戦が繰り広げられ、健闘の末、第 26 位となりました。	澤武	博	博 (伏高 26 回)
	林	延幸	幸 (伏高 31 回)
	安藤	昌広	昌広 (伏高 25 回)

令和元年度 国際交流事業実績

1 海外語学研修等派遣

派遣事業名	派遣国	派遣人数		期間等
		生徒	引率	
① 日韓高校生交流	韓 国	1	なし	10/27 ~ 11/ 1
② 語学研修 (友好校：大連市第十二中学)	中 国	37	3	12/14 ~ 12/18
③ 語学研修 (友好校：清明高等学校)	韓 国	40	4	12/18 ~ 12/22
④ 語学研修 (友好校：第 2 ギムナジウム学校)	ロ シ ア	17	3	3/15 ~ 3/22
⑤ サッカー部海外スポーツ交流	韓 国	40	3	3/15 ~ 3/19
⑥ 富山県高等学校生徒海外派遣 (台湾・ベトナム)	台 湾 ベトナム	1	なし	3/8 ~ 3/19
⑦ インターアクト海外研修 「オーストラリア 7 日間」	オーストラリア	2	なし	3/24 ~ 3/30

※ 上記以外に、第 2 外国語学習、国際理解等の有効な機会と判断できる場合は、随時、交流を実施する。

二七回卒 井上動物病院 院長 井上人士也	二七回卒 セブンイレブン富岡城東店 代表取締役専務 松長 聡	二七回卒 島田工業(株) 代表取締役 島田博司	三一回卒 松島工業(株) 代表取締役専務 松嶋浩二	三一回卒 数田工業(株) 代表取締役 数田昭久	三一回卒 スミエ工業(株) 代表取締役 条谷正利	三一回卒 三和運輸(株) 代表取締役社長 勝山英和	三九回卒 日光商事 代表取締役 戸澤秀行	三九回卒 テイ・エムシー・エム・アール(株) 代表取締役 前田伊和男	四一回卒 宮越工業(株) 代表取締役社長 宮越 一郎	四一回卒 ヤマ自動車(株) 代表取締役 山 鉄也	四一回卒 旬菜食飲 かも蔵 代表取締役 田守盛久	四一回卒 山岡石材工業(株) 代表取締役社長 山岡弘之	四一回卒 杉本和美装 代表取締役 杉本和文	五一回卒 奥原電気 代表 奥原 理
--------------------------------------	------------------------------------------------	-----------------------------------------	-------------------------------------------	-----------------------------------------	------------------------------------------	-------------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------------------------------	--------------------------------------------	------------------------------------------	------------------------------------------	---------------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------

～平成 30 年度 進路状況～

進路指導部長 浜木 健繁

国際交流科 11 期生の進路状況は右記のようになりました。進学に関しては、推薦入試、AO 入試、自己推薦入試、一般入試、センター試験利用入試等様々な形があります。それぞれに対応したきめ細かい指導の結果、各自の希望をかなえられるようにしています。2021 年度から大学入試制度が変わり、思考力や主体性なども評価されるようになります。入試改革に対応すると同時に、これからの時代に求められる判断力や協働性を身につける教育を行っていく必要があります。

進路先については、大学短大進学者 52 名のうち県内進学者が 21 名 (40%)、石川県 7 名 (13%)、関東方面 9 名、中部方面 8 名、近畿方面 7 名となっています。また、専門学校進学者 42 名のうち 28 名 (67%) が県内となっています。

就職に関しては、少子高齢化で人手不足のためか、就職の求人が昨年同様多く、就職する生徒も多くなっています。

生徒の個々の能力に合わせ、最善の進路を選択できるよう教職員一丸となって努力しています。

同窓会の皆様には、本校生徒の進路実現のため一層のお力添えをよろしく願います。

平成 30 年度 大学等進路状況 (延べ数)

進路先	合格者数	学校名・企業名等
国公立大学	6	金沢、富山、富山県立、新潟県立、都留文科
私立大学	27	富山国際、高岡法科、北陸、金沢星稷、金沢工業、金城、新潟国際情報、福井工業、帝京、駒澤、文教、大東文化、東洋、秀明、國學院、名古屋商科、愛知学院、近畿、立命館、京都産業、桃山学院
短期大学	26	富山短期、富山福祉短期、金沢学院大学短期、金沢星稷大学女子短期、大妻女子大学短期、上智短期、産業技術短期、北陸職業能力開発大学校、京都栄養医療、津市立三重短期
専門学校	45	富山県高岡看護、富山病院附属看護学校、富山県歯科総合学院、富山市立富山外国語、富山県技術専門学院、富山情報ビジネス、富山県理容美容、富山医療福祉、富山国際ペットビジネス学院、富山調理製菓、富山リハビリテーション医療福祉大学校、石川県立七尾産業技術専門学校、北陸職業能力開発大学校、京都栄養医療、大宮スイーツ&カフェ、日本航空大学校、国際医療福祉専門学校七尾校、金沢リハビリテーションアカデミー、日本外国語、中部美容、東海医療技術、京都外国語、トヨタ名古屋自動車大学校、金沢科学技術大学校、石川県歯科医師会立歯科医療
就職	17	アイシン軽金属株式会社、三協立山株式会社、立山化成株式会社、日本高周波鋼業株式会社富山製造所、株式会社オプテス北陸工場、クラシエ製菓株式会社、磯はなび、株式会社古城モーターズ、日本郵便株式会社、ヤマト運輸株式会社、株式会社スカイ、自衛隊 (官)

部活動報告

Fushiki High School

◆◆◆ 令和元年度 部活動の記録 ◆◆◆

(平成31年3月～令和元年11月)

〈ソフトテニス部〉

第 14 回射水市ソフトテニス大会一般男子 第 2 位 松井 翔太 (2 年)
射水市市民体育大会ソフトテニス競技 1 部 団体男子の部
第 1 位 北本 敦也 (2 年)
松井 翔太 (2 年)

富山県高等学校ソフトテニスインドア高岡地区予選

男子個人 第 2 位 北本 敦也 (2 年)
松井 翔太 (2 年)

〈国際関連〉

第 21 回富山県高等学校英語プレゼンテーションコンテスト
レクチャー部門 奨励賞 吉田 慈永 (1 年)
松田 美恵 (2 年)

インターアクトクラブガバナー表彰 明野 琉依 (3 年)

北陸大学主催第 5 回全国高校生中国語発表会
中級リーディング部門 第 3 位 荒谷 宏幸 (2 年)

〈書道部〉

第 44 回富山県青少年美術展 書道部門 入 選 海下絵玲奈 (2 年)

第 18 回岐阜女子大学全国書道展

大賞 高木美優菜 (1 年)
特賞 坂井 桃羽 (3 年)
特賞 東海 咲樹 (3 年)
特賞 土合 凜 (3 年)
特賞 中村 愛 (2 年)
特賞 喜多 彩音 (1 年)

〈琴部〉

第 30 回富山県高等学校日本音楽演奏会
日本音楽部門 優秀賞 伏木高等学校 箏部

〈その他〉

令和元年度地域安全運動啓発 標語の部 村西 彩純 (3 年)

◆令和元年度英語検定合格者数 (令和元年 12 月現在)

級	1 年	2 年	3 年	合計
2 級	0	0	2	2
準 2 級	2	13	8	23
3 級	17	13	1	31

INFORMATION

①平成 28 年版名簿について

平成 28 年版如きヶ丘同窓会名簿を発行しました。希望される方は直接来校されるかサラトにお申し込みください。
価格：4,350 円 (送料、税込み)

②会報購読、会報広告の件

会報の購読を希望される方、および会報への広告掲載にご協力いただける方は、事務局までご一報ください。

③寄稿の件

本会報に掲載する原稿を募集いたします。学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話など皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、原稿は 1,000 字以内でお願いいたします。下記のメールアドレス、または学校事務局まで送付ください。

④如きヶ丘グリーン会参加者募集

毎年 4 月第 2 土曜日

富山県立伏木高等学校 同窓会事務局
〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮 2 丁目 11 番 1 号
TEL 0766-44-1514 FAX 0766-44-1707
E-mail: fushiki-hs@tym.ed.jp ホームページ <http://www.tym.ed.jp/sc354/>

受付
窓口

編集後記

昨年度まで伏木高校評議員を 3 年間務め、学校と学生達の取組に刺激を受け、勉強させていただきました。そして昨年度より先輩方に声をかけていただき同窓会にも参加させていただいております。10 月に行われた富山マラソンに参加した際には沿道応援に庄川河川敷で伏木高校生、そして土砂降りの中で約 20 年振りには恩師の先生と再会して声をかけて頂き、なんとか完走することができました。卒業して 20 余年経った今になって母校との縁を感じています。

同窓会ではまだ何も出ていませんが 100 周年に向け少しでも力になれるよう取り組んでいきたいと思います。

副会長 奥原 理 (伏高 51 回)